

「令和 7 年度女性防災リーダー交流セミナー」を開催しました（2025/11/26）

テーマ：宮城県、女性防災リーダー、セミナー、防災活動
会 場：宮城県庁 2 階講堂

11 月 26 日、宮城県庁 2 階講堂において、「令和 7 年度女性防災リーダー交流セミナー～地域と繋がるアイデア～」を、宮城県と災害科学国際研究所の共同主催で開催しました。

このセミナーでは、「災害対応には女性（男女両方）の視点が重要・必要である」ことを再認識していただくとともに、女性防災リーダーが地域防災に参画する際の工夫などについて学び、考えていただくことを目的に、事例発表や意見交換を行いました。

参加者は宮城県内の各地から集まった約 50 名の女性であり、以下 2 名の事例発表とグループワーク全体のコーディネーター役を、当研究所の佐藤健教授（防災教育実践学分野）が担いました。

事例発表者

- ・ 繁野 みど里 氏（せんだい女性防災リーダーネットワーク）
- ・ 兼子 佳恵 氏（一般社団法人りとりと代表理事）

グループワークでは、以下のテーマ設定のもと、情報共有や意見交換、グループ発表が行われました。

グループワーク①

- ・ 「日頃どのような防災活動を行っていますか？」
- ・ 「防災に限らず、学校とどのようなつながりがありますか？」

グループワーク②

- ・ 「みなさんが、地域の防災活動に参加しやすくなるためのアイデアを出してみましょう」

グループワーク③

- ・ 「今後どのような防災活動を行いたいですか？」

「仙台防災枠組 2015-2030」におけるステークホルダーの役割として、「女性の参加は、ジェンダーという視点からの災害リスク管理を進める際に重要である」と言及されていることや、我が国の「第 5 次男女共同参画基本計画～すべての女性が輝く令和の社会へ～」（令和 2 年 12 月 25 日閣議決定）における第 8 分野において、「防災・復興、環境問題における男女共同参画の推進」が位置づいている中、宮城県防災指導員に占める女性の割合は、15%程度に留まっており、防災分野における女性参画のさらなる推進が期待されます。

セミナー当時の様子は、2025 年 12 月 3 日の河北新報でも紹介されました。